

注意点1



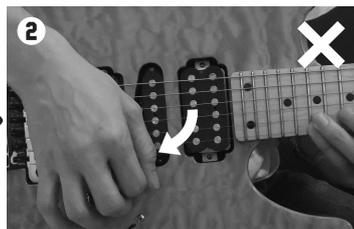
右手

スウィープ時のピックは平行&真っ直ぐ動かせ!

スウィープ・ピッキングを弾く時には、ピックの角度と軌道に注意してみてほしい。ピッキングの軌道を斜めにしたと、弦に対するピックの角度が付き過ぎるため、弦を擦るようなノイズ音が発生する(写真①&②)。また、ピックがズレて音が小さくなることも多いので気をつけよう。基本的には、手首を固定して弦に対してピックを平行気味に当てるように弾くと良い(写真③&④)。そして、ダウンではピックと親指で弦を押すように、アップではピックと人差指で階段を登っていくように弾こう。鏡の前で演奏するなどして、スウィープ時の右手の軌道【註】を確認してみてほしい。



① ダウン・スウィープのスタート位置。



② 手首を曲げてしまうと、軌道が曲がるので注意!



③ ダウン・スウィープは、ピックを弦に平行に当てて……



④ 真っ直ぐの軌道で演奏しよう!

注意点2



右手

自分にピッタリ合ったミュート場所を探せ!

スウィープ・ピッキングでは、弦移動した前の音を消音するように順序よくミュートを掛けていかなくてはならない。スウィープに弾き慣れていない人は、すべての弦に力強くミュートを掛けて、モコモコした音を鳴らすことが多いので注意しよう。基本的には右手のミュートがポイントになるが、弦に触れる箇所は①小指側、②手首側、③親指側の3つが挙げられる(図1)。手のサイズによって、ミュートを掛けやすい位置は変わるので、何度もくり返し練習してみて、自分に合った場所を探そう。最終的には、左手は押弦せず1~6弦開放を右手のみでスウィープできるようにしてもらいたい。

図1 スウィープ時の右手のミュート箇所

① 小指側



② 手首側



③ 親指側



手のサイズや手首の使い方によって、最適なミュート・ポイントは変わってくる。

注意点3



理論

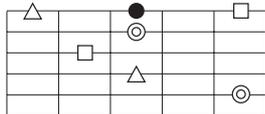
1弦フレーズを挟んで2つのコードを繋げよう!

このメイン・フレーズは、5弦ルートのトライアドに1弦フレーズを加えた応用ポジションになっている(図2)。1弦フレーズは、各コードの3rd音・4th音・5th音の3音によって構成されていて、コードとコードを繋ぐ役目になっているのでポジション移動を的確に行なおう。また、ピッキング力を養うためにハンマリング&プリングをまったく入れていないので、フル・ピッキングでキッチリ弾いてみてほしい。スウィープ・ピッキングに弾き慣れている人は指癖でハンマリング&プリングを入れてしまうことが多いので注意すること!

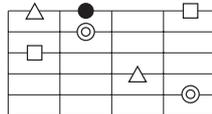
図2 トライアド+4th音ポジション

◎トニック △3rd音 ●4th音 □5th音

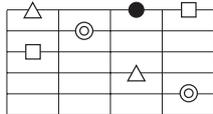
・マイナー・ポジション(Em, Bm)



・メジャー・ポジション①(D, A)



・メジャー・ポジション②(C, G, F)



各ポジションの違いを頭と指に叩き込むべし!

【スウィープ時の右手の軌道】スウィープの派手な軌道には、「斜め」以外に「円運動=サークル・ピッキング」がある。これは弦に対するピックの角度が不安定なため、ノイズが多く、リズムも取りづらいので注意しよう。